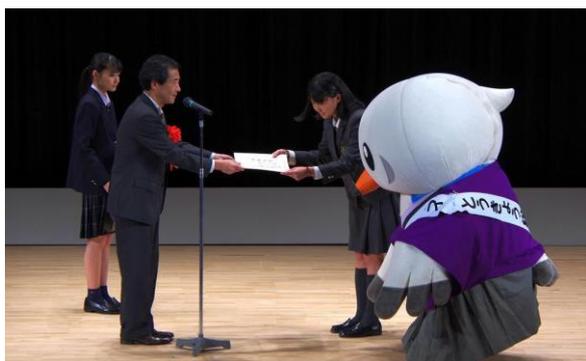




とうきょう総文2022 通信 第5号

令和4年度夏開催予定の全国高等学校総合文化祭東京大会に向けて、初のカウントダウンイベントとなる「1000日前イベント」を11月4日（月・振替休日）に江戸東京博物館で開催しました。大会マスコットキャラクターの任命式や生徒による部門発表などの様子を、今月号以降、2回に分けて御紹介します。

【大会マスコットキャラクター任命式】



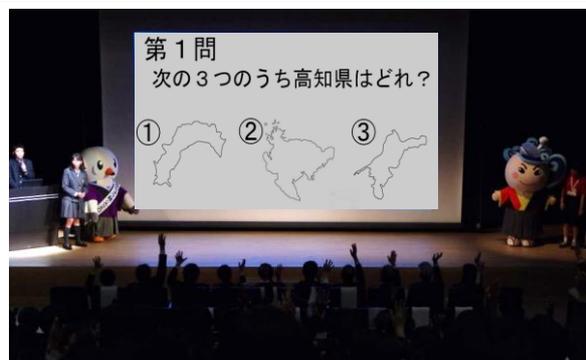
宇田剛教育監から「ゆりーと」に対して、大会マスコットキャラクター任命証が交付されました。今後、様々な広報イベントや総文祭東京大会で大活躍してくれます。

【来年度開催の高知県との交流①】



令和2年に総文祭が開催される高知県から生徒実行委員と、大会マスコットキャラクターの「土佐なる子」が来てくれました。自己紹介とお互いの総文祭をアピールしました。

【来年度開催の高知県との交流②】



交流会では、高知県と東京都に関するクイズを行いました。それぞれの地理や歴史について楽しく学び、お互いの県や都への親しみが、一層わいてきました。

【ゆりーとダンス】



都立杉並高等学校吹奏楽部の演奏に合わせて、生徒委員会広報担当の生徒が「ゆりーとダンス」を踊りました。「ファイト」の掛け声で舞台と会場が一体となりました。

観覧者アンケートより

- 「ゆりーと」は、とてもかわいらしく、親しみやすく、総文祭マスコットにふさわしいと思いました。「ゆりーとダンス」も素敵でした。
- クイズ形式で会場を巻き込む交流会だったので、とても楽しかったです。今後も交流を図ってほしいと思います。
- 生徒による企画・作成が素晴らしかったです。「ゆりーとダンス」の都立杉並高校吹奏楽部の演奏や生徒委員のダンスもクオリティが高く、東京大会成功への期待が高まりました。